

DX 戦略書

— 警備業界の課題解決と持続的発展に向けて —

2026-2028

一般社団法人埼玉県警備業協会

令和8年4月

【目次】

1. 基本方針
2. 経営環境と課題
3. DX 推進の方向性
4. 具体的取組
5. 成果目標 (KPI)
6. 推進体制
7. 人材育成
8. リスク管理
9. 情報公開
10. ロードマップ

【会長メッセージ】

警備業界は現在、深刻な人手不足や適正取引への対応、社会からの信頼確保など、大きな転換期を迎えております。

こうした環境の中で、業界の持続的発展を実現するためには、従来の延長線上ではなく、デジタル技術を活用した新たな取組、すなわち DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進が不可欠です。

本協会では、業界を支える中核団体としての責任を自覚し、協会運営の高度化と会員支援機能の強化に取り組むことで、警備業界全体の発展に貢献してまいります。

【協会の概要】

本協会は、埼玉県内の警備業者を会員とし、警備業の健全な発展と社会的信頼の向上を目的として設立された団体である。主な業務は次のとおりである。

- 警備員教育・講習の実施
- 会員企業への各種施策情報提供
- 行政との連携・調整
- 業界の健全化に向けた各種取組

現在、事務局は6名で運営している。

【本文】

1. 基本方針

本章では、本協会の DX 推進に関する基本方針を示す。

本協会は、警備業界が直面する人手不足や適正取引への対応等の課題に対応し、業界の持続的発展を実現するため、デジタル技術を活用した DX を推進する。

2. 経営環境と課題

本章では、警備業界および協会の現状課題を整理する。

(1) 外部環境

- ・人材不足の深刻化
- ・適正取引への対応
- ・デジタル化の進展

(2) 内部課題

- ・業務のアナログ依存
- ・属人化
- ・情報共有の非効率化

3. DX 推進の方向性

本章では、DX 推進の基本的な方向性を示す。

- ① 協会業務のデジタル化
- ② 会員支援機能の高度化
- ③ 情報発信力の強化

4. 具体的取組

本章では、具体的な DX 取組を示す。

会員管理のクラウド化を構築し、情報の一元管理を行うことで業務の効率化と迅速な会員対応を実現する。また、ホームページの機能強化および講習申込のオンライン化を推進し、利便性向上と業務負担の軽減を図る。

さらに、eラーニングの整備やデータ活用を通じて会員支援機能の高度化を図る。

5. 成果指標（KPI）

本章では、DX 推進の成果指標を示す。

- ・オンライン申込率：80%以上
- ・ペーパーレス化率：70%以上
- ・ホームページアクセス数：20%増
- ・オンラインセミナー：年 10 回以上

6. 推進体制

本章では、DX 推進体制を示す。

DX 推進責任者を設置し、事務局を中心とした体制により DX を推進する。また、理事会へ定期的に進捗報告を行う。

7. 人材育成

本章では、人材育成の方針を示す。

DX 推進に必要な知識習得のため、外部研修やセミナーを活用し、職員のスキル向上を図る。

8. リスク管理

本章では、リスク管理について示す。

情報セキュリティ対策として、アクセス権限管理、パスワード管理、ウイルス対策等を実施する。

9. 情報公開

本章では、情報公開の方針を示す。

DX 推進宣言および本戦略書をホームページに掲載し、取組内容を広く発信する。

10. ロードマップ

本章では、DX 推進の工程を示す。

令和 8 年度：戦略策定・環境整備

令和 9 年度：取組実行

令和 10 年度：高度化・改善

【おわりに】

本戦略に基づき、協会一体となって DX を推進し、警備業界の持続的発展に貢献してまいります。